

四日市市の将来都市像に関する  
調査特別委員会

(令和4年12月19日)

○ 樋口龍馬委員長

議会開催中にお集まりいただきまして、ありがとうございます。可能な範囲で端的に進めてまいりたいと思いますが、最後のまとめの部分でございますので、変に割愛することなく進めてまいりたいと思いますので、ご協力をお願い申し上げます。

それでは、インターネット中継を開始してください。

事項書に従って進行してまいります。

1 番項、論点整理についてであります。

前回から修正をさせていただきました部分がございますので、本日の会議資料の中、002、論点整理（修正案）、こちらをお開きください。番号を全部言いましょうか。12番です。四日市市の将来都市像に関する調査特別委員会、002、論点整理というところをお開きください。

よろしいですか。進めさせていただきます。

まず、1 ページ目、（1）四日市港を活かしたまちづくり中、黄色の網かけがしてございますところですが、本市の方向性も踏まえというふうに書かせていただいていたんですが、みなとまちづくりプランについては、本市のみならず民間の方たちも協力いただいていることもございますので、本市のというところを削除させていただいて、全体を示すような書きぶりに変更させていただきました。

この点につきまして、皆様、ご質問、ご意見等がございましたら、ご発言をお願いいたします。

（なし）

○ 樋口龍馬委員長

なしのお声をいただきました。なしと認めます。

それでは、続きまして、論点（3）の部分、2 ページをお開きください。

前回、石油コンビナート等の産業はというふうに書いておったんですが、石油化学コンビナートが正解ではないかといったご意見をいただき、石油化学コンビナート等の産業はというふうに書き記しておったのですが、これ、行政とも確認をし合いまして、石油化学

コンビナート等の産業というような書きぶりはないということでございましたので、化学については追記、そして、の産業、ここを削除させていただき、文章といたしましては、戦後の四日市を支えてきた石油化学コンビナート等はこのようにシンプルに記させていただきますところでございます。

続きまして、③四日市港、伊勢湾をきれいで豊かな海にしというふうに、豊かを追記してはどうだというご意見をいただきましたので、そのまま追記をさせていただきました。

本市を含めた産官学の多様な主体が連携、協働しというところを、協働するとともに、今後の国の動向も注視しながらということで、みなとまちづくり、海のことに関しては、国の動向も見ていく必要があるだろうというご指摘がございましたので、文言の中に加えさせていただきますものであります。

続きまして、鈴鹿山系から伊勢湾に至る本市、ここに特有と入れることが適切であるかどうかという議論がございました。特有という言葉在省いても意味が通じるのではないかとこのところから、特有については削除をさせていただいてございます。

以上が（３）の修正点になりますが、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

（なし）

## ○ 樋口龍馬委員長

なしのお声をいただきました。なしと認めます。

続きまして、（５）です。３ページをお開きください。

これは、（６）をなくしましたことによりまして、大幅に追記がなされておりますが、図書館を含む中心市街地の再整備、今後の議論を踏まえ加筆というふうにしておったところ、（６）については特出しをする必要がないのではないかとこのご意見があったことから、もろもろと（５）に追記がなされております。

読み上げます。

①本市が将来にわたって、多世代が集い、にぎわいあるまちであるためには、中心市街地の活性化は不可欠である。「買い物や交流を行う拠点の創出」「次世代モビリティの活用」「回遊性の向上」「観光資源としての伝統文化の活用」など、さまざまな視点からにぎわい創出に向けた施策を複合的に実施していく必要がある。

②市内外から人を呼び込めるような視点でのまちづくりが必要である。飲食店を中心に現在にぎわいを見せている夜間の中心市街地については、安全安心な環境を確保しながら、引き続き活力あるまちの発展が求められる。それと同時に、昼間には、憩いの場として多世代が集い、居心地よく歩きたくなるようなまちづくりも求められる。

これを②といたしました。

③、こちらについては、もともとありました文章の中で、ご意見いただきましたので、若干の修正をさせていただきました。

現在検討中の J R 四日市駅前への大学設置に当たってというより向けてというふうにしてはどうだということの発言がございましたので、そのように修正をさせていただきました。設置に向けたを削除し、向けて、向けたというふうに行くことがどうだということもございましたので、このような文章にいたしました。

大学設置に向けては、協議等における国、県との連携はもちろん、必要な土地の確保や人材育成というふうにつなげてまいりました。

④については、前回の議論を集約させていただいた文言となっております。中央通りの再編や新図書館整備においては、将来を見据えて中心市街地のコンセプトを明確にし、デジタル化など時代の流れに対応した整備を進めていく必要があるというふうに、まとめさせていただきました。

以上が（５）の追記、そして修正になります。この点につきまして、ご意見、ご質問等がございます方は挙手にて発言をお願いします。

## ○ 井上 進委員

ちょっと確認。③の初めのところ、これ、J R 四日市駅前がいいんですか。駅への、前もついてよかったんですかね。

## ○ 樋口龍馬委員長

現在、J R 四日市駅の改修ということは切り離れた議論になっていまして、今の都市整備部の示している計画でいきますと、駅の前に、言うたら張りぼてじゃないですけども、細長いというか、薄いと言うたら怒られますが、別ビルを建ててというようなことで示されておりまして、話が進む中で駅舎改修ということも出てくるかもしれないけれども、まずは、公共の施設を別で準備するということが計画上示されておりまして、駅前という

表現で正しいかというふうに正副では考えました。

○ 井上 進委員

ありがとうございます。

○ 樋口龍馬委員長

他にございますでしょうか。

(なし)

○ 樋口龍馬委員長

なしのお声をいただきました。

それでは、今回の追記修正については、皆様からご確認をいただいたというふうに整理をさせていただきます。

さらに、論点に追加すべき点等があれば、この際、もう最後でございますので、集めたいと思いますが、全体を通して、こういった意見、漏れているよ、こういったことを書き入れたらどうだ等々ございましたら、新しい角度でもこの際お受けをしたいと思います。全員の合意が図れればその時点で追記も検討したいと思いますので、ご意見があります方は発言をお願いいたします。

(なし)

○ 樋口龍馬委員長

なしのお声をいただきました。よろしいですか。なしと認めます。

それでは、論点整理については本日までの議論で終結ということで確認がなされました。ありがとうございます。

続きまして、2番項、J R 四日市駅周辺活性化事業調査特別委員会から報告された13項目の要請に対する現在の対応状況について、前回からの修正、こちらを確認させていただきたいと思います。

資料は戻りまして、003、13項目（修正案）、こちらのほうをお開きください。その最

終ページ、7ページであります。

前回からいただいたご意見、こちらを踏まえまして、正副の案として修正をさせていただきました。黄色で網かけがしてございます。当委員会での確認です。これは、JR東海との懇談体制の確保という13番目の項目であります。

当委員会での確認といたしましては、関係者との協議を進めてきたことを確認した。引き続き、中央通り再編や大学の設置などでの連携を図っていく必要がある。ここまでで止まっておったんですが、なおの後です。必要な施策の実現に向けては、近隣市町とも連携し、さまざまな機会を通じて国、県への要望や働きかけを行っていくこと。こういったことが必要ではないかということをお須委員、笹岡委員よりご指摘をいただきました。この意見を参考に、追記をさせていただきましたところでございます。

ご質問、ご意見を集めたいと思います。挙手にて発言を求めます。

○ 荻須智之委員

非常によろしい文章かと思えます。よく近隣市町との連携というのが抜けているんですよ、ほかの施策でも。ですので、これは非常にありがたいと思えます。

○ 樋口龍馬委員長

また、発言者のお一人である笹岡委員、いかがでしょうか。

○ 笹岡秀太郎委員

すばらしい文章だと。

○ 樋口龍馬委員長

よろしいですか。ご賛同のお声をいただきました。

他の委員の皆様、この際の追記等がありましたらと思いますが、よろしいですか。

(なし)

○ 樋口龍馬委員長

では、この修正点については、この形でということの確認が取れました。

ほかの角度、視点で13項目についての整理、追記をすべき点等がございましたら、この際、申し出ていただきたいと思いますと思いますが、いかがでしょうか。

(なし)

## ○ 樋口龍馬委員長

なしのお声をいただきました。よろしいですか。

では、13項目の検証についてはこの程度にとどめたいと思います。

最後です。報告書（案）についてであります。

前回の会議で、当委員会における報告書のまとめ方について、大きな方向性、皆様に確認をさせていただいたところがございます。当委員会におけるこれまでの議論を踏まえまして、報告書の正副案を作成させていただきました。会議用システムにアップロードを先日させていただきまして、事前に皆様にはメールでも送らせていただいたのと、委員会の最中ではあったんですが、お声がけを事務局のほうからさせていただきまして、翌日に送りますので、ご意見がありましたらできれば金曜日までに賜りたいというお願いもさせていただいているところがございます。

必要であれば読み上げをさせていただきますが、特に黄色の着色のところだけ簡単にさえましようか。

黄色の着色のところです。2ページでございます。

今までの回数が決まっておりましたが、初回を含め8回の会議と、本日の会議を含めまして8回というふうにさせていただいております。

3ページには本日の日付が入っております、本日の事項の内容が記述されております。

あとは、先ほど確認をしてまいりました修正の部分が論点整理の部分で多くございます。13項目についての内容も同じくでございます。

主な意見について、19ページ以降まとめられてございます。この資料については、前回確認を既になされているものであります。

このような形でございますが、皆様、よろしゅうございましょうか。この報告書についてよろしいですか。

(異議なし)

## ○ 樋口龍馬委員長

8回にわたりまして、皆様に様々意見を出していただき、論議を深めてもらいました。本来であれば、こういうまちのビジョンをというところを示すところまで行きたかったのですが、ようやく入り口がちょっと見えてきたのかなと。参加いただいた委員の皆様も、スタートするときには一体これはどういうふうに意見を集約していくんだ、出していくんだというところの戸惑いもあったかと思いますが、この8回の会議を経て、皆様が、何となく委員長が言っていることはこうなのかなとか、そこをさらに皆様の発想でもって越えていかれて、こういうことを市に対して求めていかなければならないのではないかという、そんな気概のようなものを感じる8回の運営でございました。

拙い正副のことでございますので、なかなか上手な回しができず、最終の結論に至らなかったところについては不本意ではありますが、この際は、令和5年度には新しい体制の議会が5月よりまた始まります。その新たな議会の中で、ぜひこの特別委員会を継続して設置いただくことを求めていくと、そういうまとめ方になりました。バトンは次の5月以降の新しいメンバーに委ねていくと。

伊藤昌志委員以外はこの場にまたご参集いただけることを祈念いたしまして、伊藤昌志委員についてはくら替えをなさるというおうわさはかねがねでございますので、この場であることはなかなか難しいかもしれませんが、皆様がまたこの場で一堂に会して新たな議論が深まっていく、そんなことを祈念申し上げまして、拙いながらの運営に対する皆様のご協力、感謝と代えさせていただきたいと思っております。

このたびはありがとうございました。

副委員長も何かちょっとよろしいですか。お願いします。

## ○ 山口智也副委員長

皆様、大変ありがとうございました。五つの論点にまとめていただいて、今後、これを、例えば都市宣言などをつくり上げていくということも考えられますので、またさらなる皆様のお知恵を拝借したいと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。大変ありがとうございました。

## ○ 樋口龍馬委員長



それでは、以上をもちまして、四日市市の将来都市像に関する調査特別委員会、こちらの全部の事項を終了させていただきます。ありがとうございました。

16：05 閉議